

県内「一貫生産」に強み

「ヒヨ、ヒヨ、ヒヨ…」。室内に黄色い声が響く。卵をふ卵場のある本社に卵からかえったばかりのひよこをスタッフが拾い上げ、ベルトコンベヤーへ。自動でカウントする機械を通り、100羽ずつかごに収まっています。

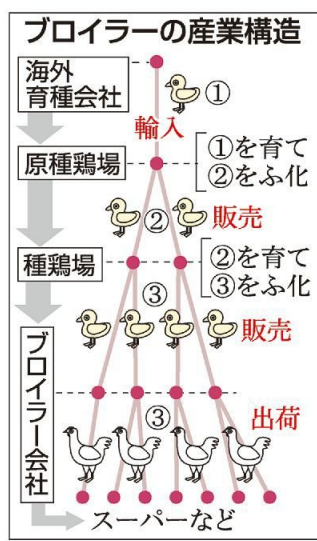
ワクチンを注射し、黄色い片寄らないよう、左右に傾ける動きを繰り返しながら約3週間、37度程度で温める。かえったひよこは岡山県内をはじめ、中四国、近畿、東海地方などのブロイラー会社に出荷。その規模は西日本有数の年間2200万羽に上る。

「よい雛」を社是に、90年近くひよこを供給してきた同社。山上祐一郎社長(46)は「鶏肉は安価で良質なタンパク源。安全で安心な良いひよこを、効率的に育てるのが自分たちの役割」と話す。



「よい雛」を社是に、90年近くひよこを供給してきた同社。山上祐一郎社長(46)は「鶏肉は安価で良質なタンパク源。安全で安心な良いひよこを、効率的に育てるのが自分たちの役割」と話す。

多層構造で効率的に



「岡山は他ではちょっと見られない特徴がある」と山上社長は言う。それは、チャンキーが県内、日本由来の地鶏と比べると、半分ほどの45〜50日程度。大きさは半世紀前の倍以上と、飛躍的な進化を遂げている。選抜された品種を安定して生産するには、ひよこの供給が重要だ。ブロイラーを代表する品種「チャンキー」は、英国にある育種会社が優秀なひよこを生産し、日本に輸出している。

それを国内の専門業者が「原種鶏」に育てる。その卵からふ化したひよこを別の業者が「種鶏」に育て、さらに卵を産ませる。かえったひよこをブロイラー会社が育成し、肉に加工する。つまり、肉用の養鶏場は血統を守りながら莫大な数を効率的に生産するため、多層構造になっている。店頭に並ぶ鶏を育てる「ブロイラー会社」▽その親の世代を育てる「種鶏場」▽祖父母の世代を育てる「原種鶏場」。福田種鶏場は社名の通り種鶏場だ。

「岡山は他ではちょっと見られない特徴がある」と山上社長は言う。それは、チャンキーが県内、日本由来の地鶏と比べると、半分ほどの45〜50日程度。大きさは半世紀前の倍以上と、飛躍的な進化を遂げている。選抜された品種を安定して生産するには、ひよこの供給が重要だ。ブロイラーを代表する品種「チャンキー」は、英国にある育種会社が優秀なひよこを生産し、日本に輸出している。

短期間で育てられ、出荷されるブロイラー。ウェルファームフーズ岡山事業所によると、飼育のポイントは「温度と換気」にある。小さなひよこは体温調整機能が乏しく、成長に合わせて室内を一定の温度に保つ必要があるからだ。

温度と換気がポイント



温度や換気を自動制御するウェルファームフーズのシステム鶏舎

同事業所はコンピューターで温度や湿度を制御できる「システム鶏舎」を整備。換気扇やミスト発生装置を駆

使して、常に最適な環境を整えている。採卵養鶏ではケージに入れる飼育方法が大半だが、ブロイラーは地面に放して飼う「平飼い」が主流となっている。ブロイラーの体重は採卵鶏の約2倍で、ケージに入れて積み上げるのが難しい。「運動させた方が肉質も良くなる」(同事業所)という。(小川正貴)

「森林どり」のブランドで、年間1020万羽を県内外のスーパーなどに出荷している。岡山正和所長(62)は「ひよこを育てる福田種鶏場が近くにあることで、輸送コストが抑えられ、情報共有も密にできる」と話す。

両社は「一心団体」と認め合う。規模拡大を目指すウェルファームフーズに呼応して、福田種鶏場も農場の拡充やふ卵場の移転増設などを視野に入れているという。一貫生産を強みに、岡山のブロイラー産業が一段の進化を遂げるかもしれない。(小川正貴)